

第1章 経営戦略の概要

1 経営戦略策定の趣旨

刈谷市下水道事業は昭和27年（1952年）に近隣市町に先駆けて合流式[※]下水道の整備に着手しており、平成元年（1989年）の供用開始から30年余りが経過し、これまで生活環境の改善、公共用水域[※]の水質保全、浸水防除に重要な役割を果たしてきました。

しかしながら、本市の下水道事業を取り巻く環境は近年厳しさを増しています。下水道事業は、下水道使用料や受益者負担金などの収入をもって経営を行う独立採算制を基本原則としていますが、下水道施設の整備には多額の費用を要することから、財源は一般会計[※]からの繰入金[※]に大きく依存する状況となっています。また、施設等の老朽化に伴い、今後はさらに更新費用の増加が見込まれます。

このような状況の下、下水道事業を将来にわたり安定的に続けていくため、中長期的な視点に立った経営の基本計画である「経営戦略[※]」を策定するものです。

2 経営戦略の位置づけ

本経営戦略は本市行政の基本指針である「第8次刈谷市総合計画[※]」及び都市計画の基本方針である「第4次刈谷市都市計画マスタープラン[※]」の内容を踏まえ、「刈谷市下水道ビジョン」に掲げた施策等を実現するための経営の基本方針を定めるものです。

主な内容は、投資計画（下水道施設の投資見通し）と財政計画（使用料収入等の財源の見通し）を均衡させた「投資・財政計画」です。



3 経営戦略の計画期間（10年間）

本戦略は50年先の下水道事業経営を見据えた上で、計画期間を令和5年度（2023年度）から令和14年度（2032年度）の10年間とします。